

「高め合い 認め合い 楽しく学び合う 小鹿野小学校」

# 学校だより



学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子

小鹿野町立小鹿野小学校 7号 令和2年 9月29日 発行

## 「たくさんの応援をありがとうございました！」

校長 坂本 勉

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言われているように、残暑が厳しかった9月上旬がずいぶん前のことのように感じられる今日この頃です。街角ではどこからともなく金木犀（キンモクセイ）の香りがほのかに漂い、季節の移り変わりを感じさせてくれています。

9月19日（土）に行なわれました「秋季大運動会」では、保護者の皆様、地域の皆様など多くの方に支えられ、運動会を無事、終了することができました。ありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対応など、様々な要因を踏まえて時間の短縮や参観者の人数制限などを行いました。これまでに経験のない大きな変更でしたので、ご迷惑やご不便をおかけした点多々あったかと思いますが、改めてご理解いただきたく存じます。

運動会は、学校の行事の中でも全校が関わる大きなものです。私たち教職員は、子どもたちに「**がんばった**」という**自信と満足感**をもって取り組んでほしいと願っています。そのためにも、自分がどんなことをがんばりたいのか、具体的な目標をもって取り組ませております。また、**みんなで力を合わせて乗り越え**ると、**ひとりでがんばるよりも、もっともっとできることが大きくなったりうれしいことが増えたりすることも実感してほしい**と思っています。当日も、また当日に向けて**がんばったこと**も一人一人の成長につながっています。運動会を通して、「**目標をもって取り組むことができたか**」、「**みんなで力を合わせることのよさを実感できたか**」を振り返り、**次の活動につなげてほしい**と思います。

ところで、**運動会といえば綱引き**を思い浮かべますが、かつて、ドイツのリンゲルマンという学者が**綱引きの力を測る実験**を行いました。1人だけで綱を引いたときの力を100%とした時、2人で引っ張ると1人当たりの力が93%、5人では70%、8人では49%になったそうです。集団で作業を行う場合、メンバーの人数が増えるほど1人当たりの貢献度が低下するこの現象を「**リンゲルマン効果**」と呼ぶそうです。NHKがかつて番組の企画で同じような実験を大学の運動部員の協力で行ったところ、やはり同じような結果が出たそうです。ただ、ここで面白いのは、その後、チアリーダーの応援を加えて同じ実験をしたときには、全員が100%の力を出す結果になったのです。**応援の効果の大きさを表す**分かりやすい事例かと思えます。



保護者や地域の皆さまには、運動会を盛り上げるために、たくさんの応援をいただきました。ありがとうございました。運動会での子どもたちの頑張りは、これまでの練習の成果に加え、当日の保護者・地域の皆様の応援があつてのことだと思えます。もちろん子どもたち同士も互いに励まし合っていたことでしょう。今後も保護者・地域の皆様には、子どもたちが力を出し切る達成感を数多く味わえるよう、様々な場面で応援の声をいただけると幸いです。